

【市場規模算出、レポート発刊の目的】

2025 年 7 月、アंकパートナーズ合同会社では、ファクタリング市場につき、2025 年 3 月期の市場規模（売掛債権買取額）を 6.0 兆円と推計し、業界動向をまとめました。

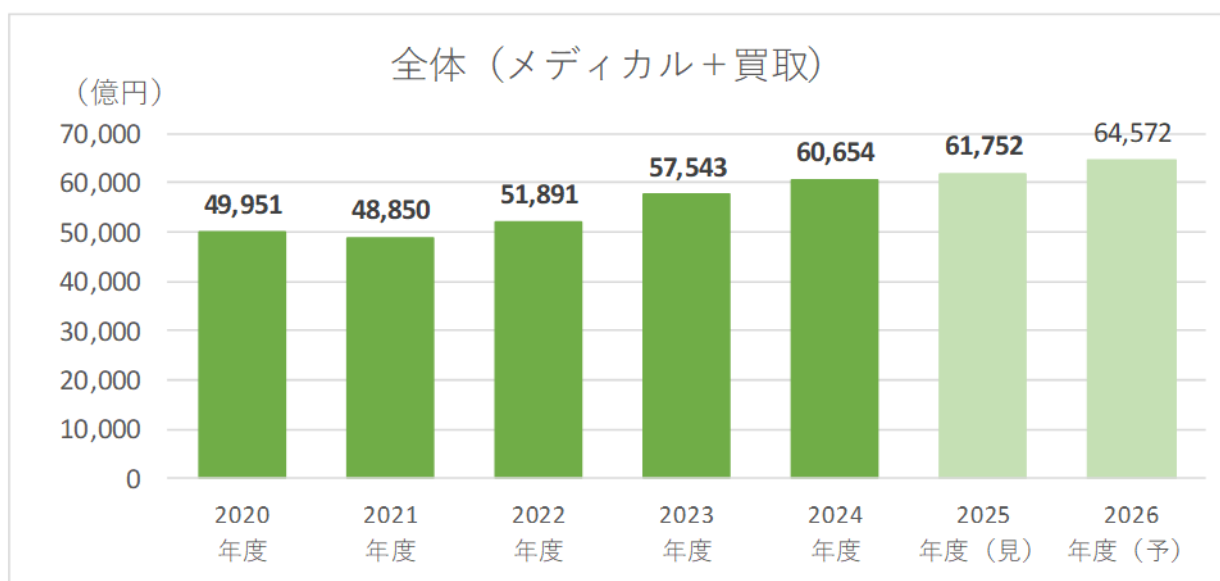
我が国では 50 年という歴史を持つ伝統的産業でありながら、当業界の統計データはなく、業界動向や市場規模をまとめた資料がない状況です。また、事業の持続的成長のための戦略的な早期資金調達ニーズを有するファクタリングの正しい認知が進まず、まだまだ利用が少ないのも現状です。

そこで、業界の正しい認知の訴求と発展を目的に、買取型及び介護・診療報酬などのメディカル系のファクタリングにつき、市場規模の算出（推計）と共に、市場動向、業界動向の把握と参入企業の実態などを定量・定性の両面から捉え、業界の将来展望や課題をまとめ、レポートを発刊しました。

【市場規模】

- 2024 年度は、緩やかな景気回復が続いたが、日銀の政策変更に伴う金利の上昇や米国の関税政策の変更などの影響により、景気の先行き不透明感が高まりつつある。同時に資金調達ニーズも強まり市場規模は拡大し 6.0 兆円と推計
- 今後は、手形廃止、振込増加でファクタリング環境はポジティブ、増加と予測
- 当ファクタリング市場は、市場の 5 割強を買取兼業が、3 割強を買取専業、1 割をメディカル系が占めると推計。買取専業とメディカル系はまだまだ市場規模は小さいが、増加基調にあり成長市場である

【ファクタリングの市場規模（全体）】



アंकパートナーズ推計

※メディカル分野（診療報酬、介護報酬等）、買取兼業分野（主に大企業向け）、買取専業分野（主に中小企業向け）の個別分野についても市場規模を推計

【本年版での新たな考察、分析、集計】

●法規制の可能性に係る考察と留意点

森・濱田松本法律事務所 外国法共同事業 パートナー 弁護士 篠原孝典氏 執筆

～法規制の全体像の解説および法規制の可能性や規制無き状況で何を留意すべきかの視点～

●マーケットプレイス型ファクタリングマッチングサービスの現状を取材

(株)WINWILL (<https://winwill.co.jp/>)【サービスサイト】<https://www.cash-bridge.com/>

●対面とオンライン型の手数料率比較

●業界構造の2カ年比較

●商品スペック（手数料率、買取下限・上限額、審査スピード、対象、申込チャネル等）の2カ年比較

【業界動向】

●50年以上の歴史を持つ伝統的産業だが、撤退と新規参入が相次ぎ新陳代謝が図られている。市場規模も拡大基調にある成長産業

●専門分野では異業種からの子会社参入相次ぎ、会計ソフト、地域金融機関等との連携が進展、エンベディットファクタリングによる販路の拡大進む

●オンライン完結型やスマホ、アプリでのデジタルファクタリングも広がっている

【企業動向等】

●少なくとも当市場には200社程度は参入企業が存在

●本レポートでは、メディカル専門、買取兼業（メディカルとの兼業含む）、買取専門（メディカルとの兼業含む）の169社を対象に集計、分析

【その他集計・分析情報】

●主な参入企業

●市場動向、業界動向

●業界の主な動き（行政、法整備、個社の動向）

●収益性、設立年、資本金、従業員数、分野別手数料、審査・入金スピード、取引形態、買取金額、利用対象、契約チャネルの分布、構成、撤退状況等（項目によっては2カ年の比較・変化も集計）

●貸付型クラウドファンディングを利用した、事業者等の資金調達額

●市場展望、課題、他

【もくじ】

調査要綱、サマリー

第Ⅰ章 総論・分析編

1. ファクタリングとは

(1) ファクタリングの意義とメリット／デメリット

- ①ファクタリングの意義
- ②メリット
- ③デメリット

(2) 本レポートで対象とするファクタリング

2. 市場の成り立ちと背景

(1) ファクタリングの起源

- ①起源は 500 年前の欧米の商取引
- ②欧米から世界へ広がるファクタリング

(2) 日本での発展

- ①1970 年代に日本上陸。伝統的な決済手段の手形取引が主流で、普及せず
- ②転機はバブル経済の崩壊、手形発行が減少
- ③この 10 年超で早期資金化のニーズが上昇
- ④事業者向け貸付残高もコロナ禍以降に急上昇
- ⑤関連法の整備に伴い、2017 年頃からファクタリングが浸透し始める

3. ファクタリングの法的根拠と整理

(1) 法規制／参入要件

- ①根拠法
- ②参入要件

(2) 取引形態

- ①3 社間取引
- ②2 社間取引

(3) 対面、オンライン

(4) 手数料率

(5) 買取金額

(6) 審査・入金スピード

(7) 審査書類

(8) 償還求償権なし（ノンリコース）

(9) 一括払い

(10) 担保、保証人

4. 法規制の可能性に係る考察と留意点

(1) ファクタリングの定義と基本構造

- ①ファクタリングの定義
- ②関係当事者の法的関係と用語整理
- ③2 者間ファクタリングと 3 者間ファクタリング

(2) ファクタリングに関係する法規制

- ①債権の売買契約
- ②債権譲渡の原則自由と制限
- ③債務者対抗要件
- ④第三者対抗要件
- ⑤倒産手続と対抗要件の意義

(3) 真正譲渡性の検討と実務対応 - ファクタリングにおける法的整理

- ① 真正譲渡とは何か

②貸付け該当性と真正譲渡の関係性

③第三者対抗要件の意味とその限界

④実務上の対応指針

(4) ファクタリング業規制の私案と展望

- ①規制の必要性
- ②規制の方向性
- ③手数料規制の意義
- ④今後の課題

(5) 制度化の有無を問わず業者に求められる体制整備と実務留意点

- ①業法なき現状と自己規律の必要性
- ②ファクタリング業者が留意すべき基本的態度と体制
- ③自主的行動規範と業界団体の役割
- ④規制導入を見据えた内部整備の必要性

5. 参入企業

(1) 参入企業の構成

(2) 主な参入企業

6. 市場環境と業界動向

(1) 市場環境

- ①市場環境の不透明感続き、ファクタリングニーズ強まる
- ②企業数は減少傾向だが、限定的なネガティブ要因
- ③小規模医療関連施設は増加傾向で、ポジティブ要因
- ④手形廃止による「でんさい」へのシフトは、脅威ではないが競合的立場
- ⑤A B L（動産担保融資）の活用、不動産担保融資から売掛債権を担保にした融資も

(2) 業界動向

- ①市場規模（買取額）は堅調に推移
- ②業法導入を望む声もあり、今は自助努力と自己防衛が重要
- ③東京都の補助金活用で自助努力を推進
- ④新規参入、独立系専門業者の撤退続く
- ⑤デジタルファクタリング
- ⑥買取専門の商品スペックの見直し進む
- ⑦エンベディットファクタリング（組込型）が進展、販路開拓を推進
- ⑧財務基盤の増強、資金調達にクラウドファンディング活用
- ⑨ファクタリングに新サービス形態、マッチングサービス
 - 1) サービスサイト立上げの経緯
 - 2) サービスの概要
 - 3) 買手と売手のメリット
 - 4) 想定する会員登録企業
 - 5) 実績
 - 6) 課題と展望に向けて

⑩周辺サービス

- 1) 請求書カード払い
- 2) RBF (レベニュー・ベースド・ファイナンス = Revenue Based Finance)
- 3) ファクタリングのオンライン管理システム
- 4) ブロックチェーン技術を活用した物流業界の輸配送代金の早期資金化

⑪業界の主な動き

7. 市場規模

- (1) ファクタリング市場の全体市場規模
- (2) メディカル分野の市場規模
- (3) 買取兼業分野の市場規模
- (4) 買取専業分野の市場規模
- (5) その他 (未集計)

8. 業界展望と課題

- (1) 業界展望
 - ①市場全体
 - ②メディカル分野は、得意領域への特化か総合メディカルファクタリング化の二極化
 - ③買取兼業分野は、子会社、グループ戦略で専業分野への注力がカギ
 - ④買取専業分野は、企業信用力向上と財務基盤の増強、新規開拓がポイント
- (2) 課題
 - ①業界における課題
 - ②企業における課題

第Ⅱ章 各論編

1. 業界構造

- (1) 概観の現状と2カ年変化
- (2) 設立年
- (3) 撤退企業の設立年の現状と2カ年変化
- (4) 資本金
- (5) 従業員数

2. 収益性

3. 商品戦略

- (1) 概観
- (2) 取引形態 (2社/3社) の現状と2カ年変化

(3) 手数料率幅の現状

- ①対面とオンラインの手数料比較
- ②手数料幅の現状と2カ年変化
- ③手数料の中央値の現状と2カ年変化
- ④手数料の平均値の現状と2カ年変化
- ⑤手数料の最頻値の現状と2カ年変化
- ⑥手数料の下限の分布の現状と2カ年変化
- ⑦手数料の上限の分布の現状と2カ年変化

(4) 審査・入金スピードの現状

- ①オンラインでの分野別審査・入金スピード比較
- ②分野別の審査・入金スピードの現状と2カ年変化
- (5) 買取下限・上限金額の現状と2カ年変化
- (6) 利用対象の現状と2カ年変化
- (7) 契約チャネルの現状と2カ年変化
- (8) その他の集計 (未集計)

4. 営業戦略

- (1) 既存顧客の規模、業種
- (2) 囲い込み策、課題
- (3) 既存顧客の動向変化
- (4) 新規顧客ターゲット、新規顧客獲得策、課題
- (5) 他社との差別化策

レポートタイトル	2025年版 ファクタリング市場の現状と展望 ～メディカル、売掛債権買取分野の全貌～ =10兆円産業に向けて＝
発行所	アंकパートナーズ合同会社
発行日、体制	2025年7月16日、A4判 117ページ
販売価格	132,000円 (本体価格：120,000円、消費税：12,000円)
TEL	090-9158-3109
ホームページアドレス	https://www.ankhpartners.com/